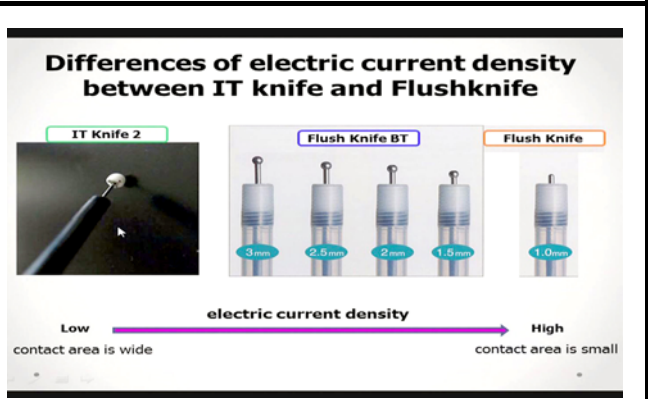


<p>【イベント名】 第5回 日本・メキシコ内視鏡カンファレンス</p>	<p>【概要】 より良い効果を得るために高周波数の電流を用いた内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）の装置について、Dr. 森田より発表があった。いくつかの新しい電気手術器（ESU）は安全で効果的なESDを容易にする多彩な機能を備えている。最新のESUは、電気外科手術中の組織インピーダンス上昇に伴う電圧変化を感知するマイクロプロセッサを搭載し、着実で安全な組織への効果を実現するために電圧を一定に保つことが可能である。</p>
<p>【期日】 2016.09.13</p>	
<p>【会場】 メキシコ国立自治大学（メキシコ）、 神戸大学（日本）、 九州大学病院（日本）</p>	



神戸大学から講演するDr. 森田。  
撮影場所：神戸大学

メキシコ国立自治大学の様子。  
撮影場所：九州大学病院



提示された内視鏡動画。  
撮影場所：九州大学病院

提示されたスライド。  
撮影場所：九州大学病院



接続された3地点。  
撮影場所：九州大学病院

九州大学病院から参加したDr. 清水。  
撮影場所：九州大学病院